

平成25年度
文化庁メディア芸術情報拠点・コンソーシアム構築事業

「館長庵野秀明 特撮博物館 ミニチュアで見ると昭和平成の技」
オープニング記念トークセッション

特撮塾@にいがた

— 特撮を語ろう、未来に向けて —

日本の貴重なメディア文化である特撮。

その第一線の作り手が新潟県立近代美術館史上最大となる展覧会に集い、
特撮の技や魂とともに文化としての未来への継承を訴えます。

2013年11月9日[土]

13:00～15:00(開場12:30)

新潟県立近代美術館 講堂

[定員] 160名

[参加費] 無料(要・事前申込/先着順)

スピーカー ※五十音順

尾上 克郎(株式会社特撮研究所 専務取締役/特撮監督)

原口 智生(映画監督・特技監督・造形師)

樋口 真嗣(映画監督)

三池 敏夫(株式会社特撮研究所/特技監督)

ゲストスピーカー

島倉 二千六(背景画家) ※新潟県出身

[主催] 文化庁、「特撮博物館」新潟展実行委員会、新潟県立近代美術館、TeNYテレビ新潟

[後援] 新潟市、新潟市教育委員会、長岡市、長岡市教育委員会

[協力] にいがたアニメ・マンガフェスティバル実行委員会、
新潟市マンガ・アニメ情報館、新潟市マンガの家

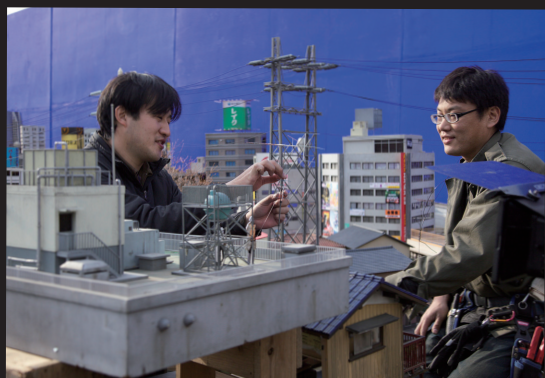
[運営] メディア芸術総合情報事務局

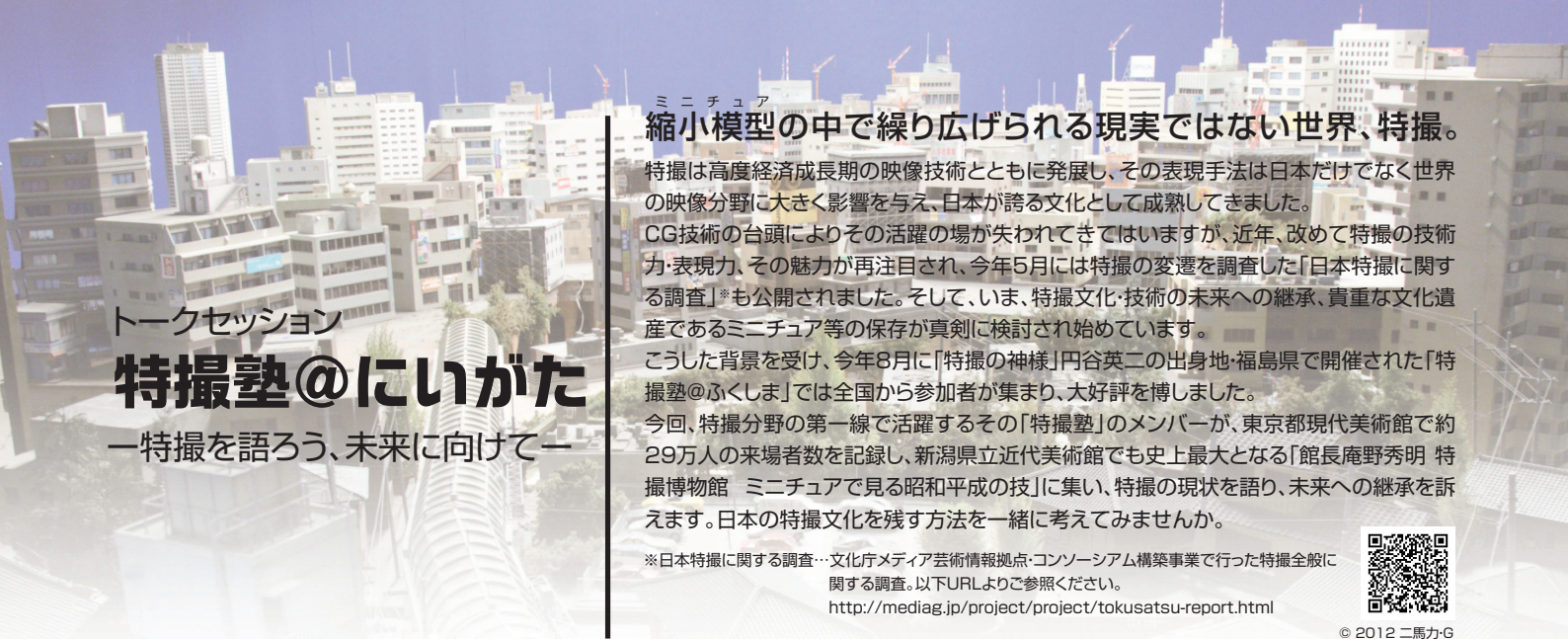
▽詳細は以下WEBサイトをご覧ください

<http://mediag.jp>

▽「館長庵野秀明 特撮博物館 ミニチュアで見ると昭和平成の技」に関してはこちら

<http://www.teny.co.jp/tokusatsu>





ミニチュア 縮小模型の中で繰り広げられる現実ではない世界、特撮。

特撮は高度経済成長期の映像技術とともに発展し、その表現手法は日本だけでなく世界の映像分野に大きく影響を与え、日本が誇る文化として成熟してきました。

CG技術の台頭によりその活躍の場が失われてきてはいますが、近年、改めて特撮の技術力・表現力、その魅力が再注目され、今年5月には特撮の変遷を調査した「日本特撮に関する調査」*も公開されました。そして、いま、特撮文化・技術の未来への継承、貴重な文化遺産であるミニチュア等の保存が真剣に検討され始めています。

こうした背景を受け、今年8月に「特撮の神様」円谷英二の出身地・福島県で開催された「特撮塾@ふくしま」では全国から参加者が集まり、大好評を博しました。

今回、特撮分野の第一線で活躍するその「特撮塾」のメンバーが、東京都現代美術館で約29万人の来場者数を記録し、新潟県立近代美術館でも史上最大となる「館長庵野秀明 特撮博物館 ミニチュアで見る昭和平成の技」に集い、特撮の現状を語り、未来への継承を訴えます。日本の特撮文化を残す方法を一緒に考えてみませんか。

*日本特撮に関する調査…文化庁メディア芸術情報拠点・コンソーシアム構築事業で行った特撮全般に関する調査。以下URLよりご参照ください。
<http://mediag.jp/project/project/tokusatsu-report.html>



© 2012 二馬力-G

トークセッション

特撮塾@にいがた

—特撮を語ろう、未来に向けて—

スピーカー ※五十音順



尾上 克郎

(株式会社特撮研究所 専務取締役／特撮監督)

1960年鹿児島県生まれ。特撮監督、特撮研究所専務取締役、早稲田大学GITS非常勤講師。主な作品:『爆裂都市・パーストシティ』『北京原人-Who Are You?』『ガメラ3/イリス覚醒』『さくや妖怪伝』『陰陽師』『キューティーハニー』『ローレライ』『戦国自衛隊1549』『日本沈没』『隠し砦の三悪人 THE LAST PRINCESS』『太平洋の奇跡』『のぼうの城』『巨神兵東京に現わる』など。



原口 智生

(映画監督・特技監督・造型師)

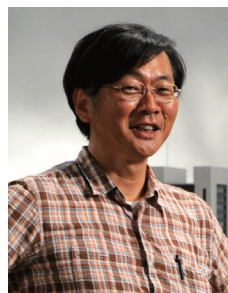
1960年福岡県生まれ。特殊メイクアップアーティストを経て平成ガメラ等で怪獣造型担当。映画監督として『さくや妖怪伝』等。TV『ウルトラマンメビウス』では特技監督。また「館長庵野秀明特撮博物館」では展示コーディネーター及び修復師を務める。東京藝術大学大学院映像研究科非常勤講師。



樋口 真嗣

(映画監督)

1965年東京都生まれ。高校卒業後に「ゴジラ」(1984)の怪獣造型に携わり映画界へ。1984年、ガイナックスに参加。『王立宇宙軍〜オネアミスの翼』(1987)で助監督を務める。1995年に「ガメラ 大怪獣空中決戦」で、日本アカデミー賞特別賞を受賞。庵野秀明総監督の「エヴァンゲリオン新劇場版」(2007、2009)では、画コンテ、イメージボードなどで参加している。その他の主な代表作は「ローレライ」(2005)、「日本沈没」(2006)、「隠し砦の三悪人 THE LAST PRINCESS」(2008)など。最新作は「のぼうの城」(2012・犬童一心と共同監督)



三池 敏夫

(株式会社特撮研究所／特技監督)

1961年熊本県生まれ。特撮業界をめざし1984年に上京、特撮研究所の矢島信男特撮監督に師事する。デザイナー大澤哲三、井上泰幸のもとで特殊美術を学び、平成ガメラ3部作、ウルトラシリーズ、ゴジラシリーズ、「男たちの大和」、「のぼうの城」など数々の作品のミニチュア美術を担当する。2012年「ウルトラマンサーガ」では特技監督を担当した。



ゲストスピーカー

島倉 二千六

(背景画家)

1940年、新潟県生まれ。1958年頃上京し、東宝撮影所に入所。『日本誕生』(1959年)で作画(アニメーション)を担当、続く「宇宙大戦争」から背景の助手に就き、以後、円谷英二作品の全てで背景画を描く。他にも黒澤明監督や伊丹十三監督など数々の作品に携わり、背景美術の第一人者として活躍。特に雲の描写は素晴らしく、「雲の神様」と呼ばれている。「館長庵野秀明 特撮博物館」で上映した「巨神兵東京に現わる」でも背景画を描いている。

*出演者は予告なく変更になる場合があります。

申込方法

必要情報をご記入の上、下記の専用サイトよりお申し込みください。

<http://goo.gl/DGLohv>

締切: **2013年11月4日(月・祝) 24:00**

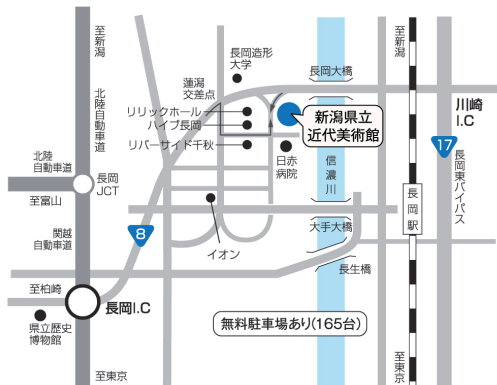
お申込みは先着順で定員になり次第締め切らせていただきます。

お問い合わせ

メディア芸術総合情報事務局(森ビル株式会社メディア企画部内)

Tel : 03-6406-3935(平日10時~17時) Mail : tokusatsu2013@mediag.jp

ACCESS



新潟県立近代美術館

〒940-2083 新潟県長岡市千秋3丁目278-14

■ 新幹線: JR長岡駅下車

■ バス: 長岡駅大手口8番線より「中央循環バス内回り」→「県立近代美術館前」下車(乗車時間約15分)

■ 自動車: 高速道: 関越自動車道長岡ICで降り、国道8号線を新潟方面へ、蓮濁交差点で右折。リリックホール向かい、千秋が原ふるさとの森内。

国道: [新潟方面より]…国道8号線長岡大橋を渡り、すぐの左折進入路に入る。

[柏崎方面より]…国道8号線長岡大橋手前、蓮濁交差点右折